

# OpenStack Juno Sahara(Hadoop-as-a-Service)の概要

日本ヒューレット・パッカード株式会社 テクノロジーコンサルティング事業統括本部 オープンソース部

## 自己紹介: 大矢俊夫(おおやとしお)

## • 所属

- 日本ヒューレット・パッカード株式会社 テクノロジーコンサルティング事業統括本部 サービス統括本部 オープンソース部

## • 職務領域

- OSSおよびJava製品関連に全般に関する技術支援、コンサルティング
  - OpenStack、Hadoop、Java Application Server、OSS DB 等々

## • 経歴

- HP-UX OEM向けサポート
- 非接触ICカード向けサーバミドルウェア設計・開発
- 2008年から現職



## Agenda

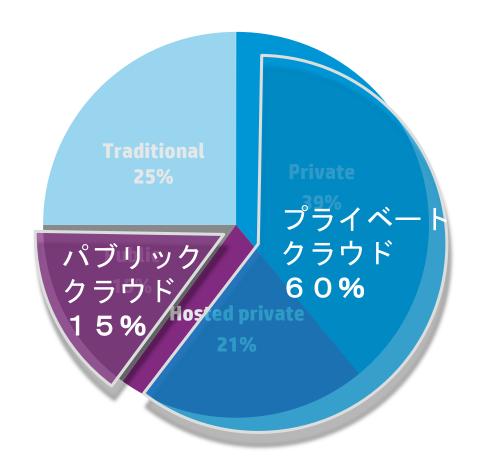
- OpenStack概要
- Hadoop-as-a-Serviceとは
- Sahara概要
- ・デモ
  - Pig を利用したビッグデータ処理
- 参考情報



# OpenStack概要



# 企業ITはハイブリッドクラウドに向かう 2016年の企業IT配備モデル(予測) <sup>1</sup>



"..2017年末には、大 企業の半数はハイブ リッドクラウドを活 用しているだろう"-Gartner<sup>2</sup>



<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> Source: Coleman Parkes Research by HP, May 2013

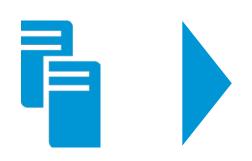
<sup>&</sup>lt;sup>2</sup> "Gartner Press Release: "Gartner says Cloud Computing Will Become The Bulk of New IT Spend By 2016", Goa, India, October 24, 2013. http://www.gartner.com/newsroom/id/2613015

## IT基盤が「クラウド化」へと進化する背景

「仮想化」への進化、「クラウド化」への進化

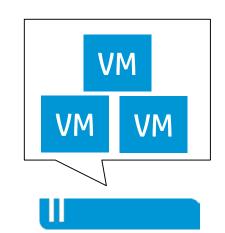
## 仮想化によるIT基盤統合

## IT基盤のクラウドサービス化



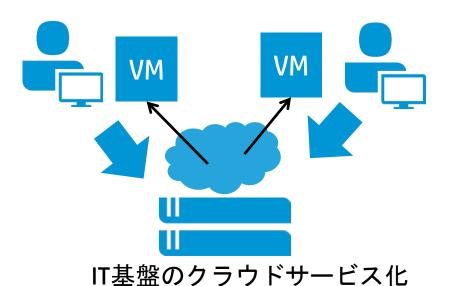
サイロ型IT基盤

得られる効果



仮想化技術を活用した IT基盤統合と標準化

- リソース稼働率の向上
- 運用作業の標準化
- システムコストの最適化



- ITリソースを、サービスメニュー化 して迅速に提供
- セルフポータルの提供による管理業 務の自動化



「クラウド化」したIT基盤を構築できるソフトウェアのニーズが拡大



## IT基盤の「クラウド化」とは

- ITリソースの「サービス化」+「標準化」+「自動化」
  - ✓ 実装手段として「仮想化」技術を利用することが多いが「仮想化」は必須ではない

# サービス化

- 利用者はIT基盤の内部構造を意識しない
- ◆ 使いたいときに使いたい分を利用する

# 標準化

- 次のような条件を共通メニューとして揃える
  - ✓マシンリソース要件(OS、CPU、メモリ等)
  - ✓ 利用条件(SLA、セキュリティ等)
  - ✓ 申請方法、運用管理等のプロセス

# <u>自動化</u>

• 利用申請やリソース払い出しなどの管理タスクをポータルやAPIで自動化



## IT基盤の利用者のメリット

要求に応じたスペックの仮想 サーバやストレージをすぐに 利用できる



## IT基盤の管理者のメリット

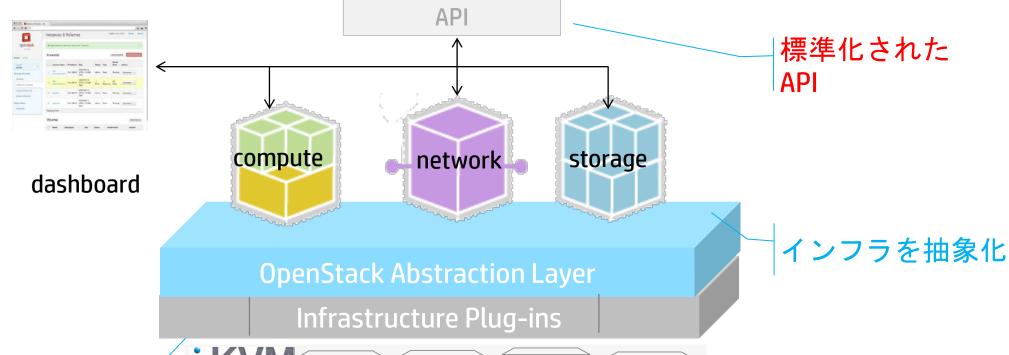
- 利用者ごとの個別対応が不要
- 運用の効率化と管理の向上
- ヘルプデスクの負荷軽減
- 統合によるコスト削減効果



## OpenStack概要

多様なインフラをサービス化する 特定ベンダの技術・仕様に縛られない="オープン・スタンダード"





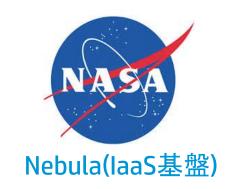
ベンダと技術の 違いを吸収する プラグイン

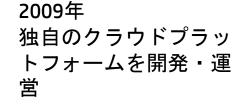


異種混在インフラ



# OpenStack開発の経緯とロードマップ







2008年 独自のクラウドファイルホス ティングサービスを開発・運 営

2010/7

openstack™

Cloud Files(ファイルホスティング)



## OpenStack参加メンバー企業

#### **Platinum Members**



#### **Gold Members**



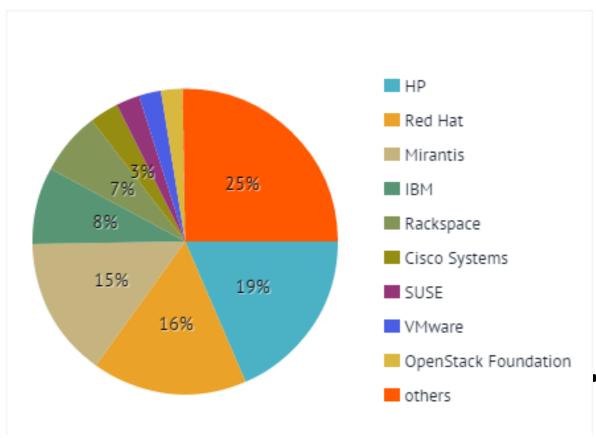
http://www.openstack.org/foundation/companies/

### **Corporate Sponsors**



# HPのOpenStackへの貢献と経験

## Contribution by companies



- HPメンバーが開発をリード(PTL)するプロジェクト
  - Horizon (Dashboard)
  - Neutron (Network)
  - Trove (DBaaS)
  - Ironic (Bare-Metal)
  - TripleO (Provisioning)
  - Designate (DNSaaS)
  - Infrastructure (CI Platform)
  - Quality Assurance (CI)
  - Olso (共通ライブラリ)
- 2011/9から3年以上 OpenStackベースのパブリック クラウドを運用してきた経験を活かす、還元する

http://stackalytics.com/

(2015/01/19)



# オープンソース版OpenStack 機能一覧 (Juno)

## 正式機能

| Phase      | プロジェクト     | 機能              |
|------------|------------|-----------------|
| Integrated | Nova       | サーバ管理           |
|            | Swift      | オブジェクトストレージ     |
|            | Glance     | システムイメージ管理      |
|            | Cinder     | ブロックストレージ管理     |
|            | Keystone   | 統合認証            |
|            | Horizon    | ダッシュボード         |
|            | Neutron    | ネットワーク管理        |
|            | Ceilometer | メータリング/モニタリング   |
|            | Heat       | オーケストレーション      |
|            | Trove      | DB as a Service |
|            | Sahara     | Hadoopクラスタ管理    |

## 次のリリースで正式機能を目指す機能

| Phase      | プロジェクト    | 機能         |
|------------|-----------|------------|
| Incubation | Ironic    | ベアメタルサーバ管理 |
|            | Marconi   | メッセージキュー   |
|            | Designate | DNS管理      |

## 新たに提案された機能(成熟を待ってIncubationへ)

| Phase    | プロジェクト   | 機能         |
|----------|----------|------------|
| External | Graffiti | メタデータ管理    |
|          | Barbican | キー管理       |
|          | Murano   | サービスカタログ管理 |
|          | Staccato | データ転送      |



## 「オンプレミス型インフラ」と「クラウド型インフラ」

# オンプレミス型(「ペット」型)

- ペットのように1台1台のサーバに名前をつける
- 24時間365日手厚く面倒を見る
- 調子が悪くなったらすぐ手当てをする

# クラウド型(「家畜」型)

- 家畜のように名前ではなく、番号で扱う
- どのサーバも区別は付けない/付かない
- 調子が悪くなったら、別のサーバを起動



"CERN Data Center Evolution", Gavin McCance, 2012



# Hadoop-as-a Serviceとは



# ビッグデータの広がり デジタルデータ、非構造化データが指数関数的に増大

毎秒の Tweet 数 **97,000** 





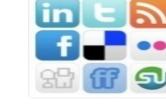
オーディオ



YouTube 上のビデオ数 **1億本以上** 

twitter

ソーシャル メディア





ビデオ



イメージ

SharePoint ユーザー 1億人以上

> 30%の増加率

毎月 Facebook で共有 されるコンテンツ数 **300億** 



テキスト



Email



ドキュメント

米国における 紙ドキュメント数**4兆** 増加率 22%

2010年携帯電話数 **50億台** 

ー日のメール数 **2,940億通** 

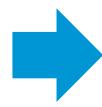


## ビッグデータ処理に対するニーズ

# 背景

- -eコマース、広告業の競争激化
- クリック数、ページビュー急減
- センサーデータの活用





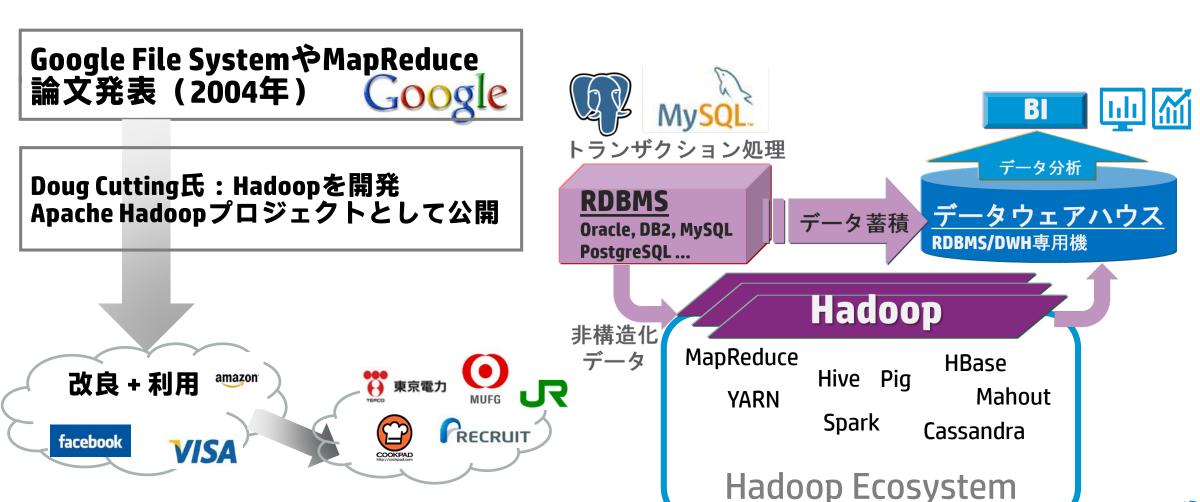
顧客と商品の相関関係、類似度を見たい ユーザーの行動パターン予測



- ・レコメンド
- ユーザー行動分析
- ログ分析
- Web Page Indexing

# Hadoopとは

非構造化データに対する、大規模分散データ処理フレームワーク



# Hadoopシステム構成



クライアント/データソース



# Name Node / Job Tracker

役割:メタデータの保持、Data Nodeの状態管理、Job管理

構成: HAソフトウェアによる冗長化

Hadoop クラスタ

Map/Reduce:複数のサーバで分散処理することで高性能を実現

HDFS(Hadoop Distributed File System)
ファイルを分割して複数のサーバに

ファイルを分割して複数のサーバに複製して保持することで冗長性を担保



データの保持と分散処理を、スケールアウト構成で実現



# Hadoop-as-a-Serviceとは

オンプレミスのHadoopクラスタ基盤の課題への1つの回答

オンプレミスのHadoopクラスタ基盤の課題

## Hadoopクラスタ基盤の 構築/資産化

Hadoop専用のクラスタシステムが必要

有用な処理結果が得られるかは実行しなければならない

## Hadoopクラスタ基盤の 運用

クラスタの運用管理の負荷が継続的に発生

クラスタのスケールアウト計画



## クラウドリソースを 利用して構築

必要な時にクラウド上のリソースから Hadoopクラスタを素早く構築

データ処理結果を簡単に得られる

# 使用時にのみHadoop クラスタ基盤を運用

クラスタの運用管理は、ほぼ無くなる

必要に応じてクラウド上のリソースを追加



# Sahara概要



## Sahara概要

OpenStack上でHadoopを動かす!





Saharaは、OpenStackで構成したクラウド上で、ユーザがHadoopクラスタを簡単にデプロイし、 また管理可能にすることを目的として開発されたコンポーネントです。

## 主なユースケース:

- ●開発やQAのための、OpenStack上へのHadoopクラスタの素早いデプロイ
- ◆汎用目的のOpenStack laaSクラウドの未使用コンピュートパワーの活用
- ●アドホックな"Analytics as a Service"(分析サービス)や、突発的な分析ワークロード
  - ●Amazon Elastic MapReduce (EMR http://aws.amazon.com/jp/elasticmapreduce/)と同様なユースケース

## 利用上の利点

- 気軽にデータ処理を試すことができる
- 必要な時に必要なサイズのHadoopクラスタを用意し、利用することができる
- 利用しない場合はHadoopクラスタを削除し、リソースを他の用途に利用できる
- REST APIを利用した自動Hadoopクラスタ構築・ジョブ実行が可能



## Sahara概要

## Saharaでできること





## ① Hadoopクラスタ基盤構築

- Hadoopクラスタ管理
  - OpenStackクラウド上でのHadooクラスタ基盤の構築・削除・管理が可能
- Plug-inベース
  - 様々なディストリビューション(コミュニティ版、Hortonworks、Cloudera、MapR)を利用可能
- クラスタ・スケーリング
  - 構築したHadoopクラスタのサイズを簡単に 増減できる

## ② ジョブ実行 - Elastic Data Processing

- ジョブ実行
  - Saharaで構築したHadoopクラスタに対し、 ジョブを実行することが可能
- Swift、HDFS連携
  - 処理対象データをSwiftまたは外部のHDFSに 配置し、利用することが可能
  - また、処理結果を出力することも可能
- ジョブ管理
  - OpenStack Horizonからジョブ管理を行うこと が可能



# ① Hadoopクラスタ基盤構築

## 1. 利用するプラグインを選択

- 利用するディストリビューション、バージョンを選択

## 2. イメージレジストリの登録

- Glanceに登録したSahara用イメージとプラグインを紐付け てSaharaに登録

## 3. ノードグループテンプレート作成

- Hadoopのマスタノード、スレーブノード等、ノードの役 割毎のテンプレートをプラグインと紐付けて作成

## 4. クラスタテンプレート作成

- 1つ以上のノードグループテンプレートからクラスタのテ ンプレートを作成

|                       | <b>/</b>           | <b>/</b>      | <b>`</b>        | <b>/</b>           |  |
|-----------------------|--------------------|---------------|-----------------|--------------------|--|
| プラグイン                 | Vainilla<br>Plugin | HDP<br>Plugin | Spark<br>Plugin | Cloudera<br>Plugin |  |
| イメージ<br>レジストリ         | 6                  | 6             | (e)             | (e)                |  |
| ノード<br>グループ<br>テンプレート |                    |               | h               |                    |  |
| クラスター<br>テンプレート       |                    |               |                 |                    |  |
| ー<br>Hadoop<br>クラスタ   |                    | • 2           | 32              |                    |  |



クラスターテンプレートを利用して Hadoopクラスタをデプロイ!

ソフスツ











# ② ジョブ実行 – Elastic Data Processing

- 1. 入力データおよび処理プログラム配置
  - 外部のHDFSまたはSwift上に入力データを配置
  - 必要に応じ、処理プログラムも配置
- 2. データソース設定
  - 処理対象データへのアクセスURLをデータソースとして設定
  - 処理結果の格納場所も同様に設定
- 3. ジョブバイナリ登録
  - データ処理プログラム(スクリプトやJavaライブラリ等)を 設定
- 4. ジョブ設定
  - ジョブタイプ(Pig, Hive, MapReduce, Spark等)とジョブバイナリを指定し、ジョブを設定します。



入出力用のデータソースおよびジョブ を指定して、ジョブを実行!



#### **HDFS**

- 入力データ - 出力データ



#### Swift

- 入力データ
- 出力データ
- Job Binaries



## Data Sources

- Job実行時に利用する入出力 データ格納場所を指定
- HDFS または Swiftを指定可能



#### **Job Binaries**

- Job Binaries格納場所
- 説明



#### **Jobs**

- ジョブタイプ
- 利用Job Binaries





#### **Job Executions**

- 利用クラスタの指定
- 利用Data Sourceの指定
- 利用Jobの指定
- 実行設定

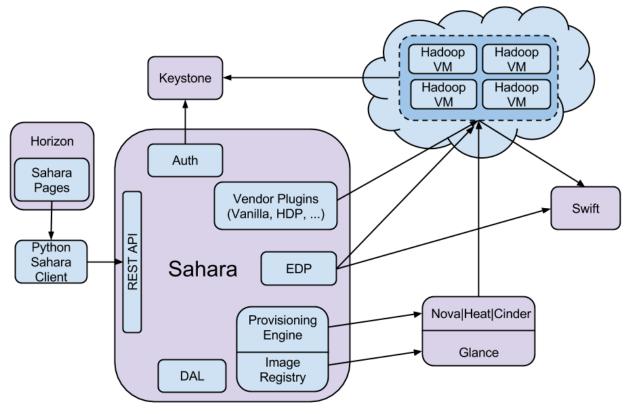




## Saharaのアーキテクチャ







| コンポーネント                                 | 概要   |  |  |
|---|--|--|--|
| Sahara Pages                            | HorizonでのSahara UIを提供                      |  |  |
| Sahara Client                           | CLI  |  |  |
| REST API                                | Saharaの機能を提供するAPI                          |  |  |
| Auth                                    | Keystoneと連携し、認証認可を行う                       |  |  |
| Venders Plugins                         | プロビジョニングしたVM上の<br>Hadoopの設定および起動に責任を<br>持つ |  |  |
| EDP(Elastic Data Processing)            | ジョブ実行のスケジューリングと<br>管理に責任を持つ                |  |  |
| Provisioning Engine<br>/ Image Registry | Nova, Heat, Cinder, Glanceと通信に責任を持つ        |  |  |
| DAL(Data Access Layer)                  | 内部モデルをDB永続化する                              |  |  |





## デモ

- Tips
  - DataSourceの指定
    - Swiftの場合
      - EDPを実行するローカルのOpenStackのSwift上のコンテナを利用することができる
      - 指定URL は以下のパターン
        - <コンテナ名>.sahara/<オブジェクト名>
        - 例) demo.sahara/input.tar
    - HDFSの場合
      - Httpfs を利用してアクセスする



# Appendix Sahara参考情報

## 参考情報

- プロジェクトサイト
  - http://docs.openstack.org/developer/sahara/index.html
- Git
  - https://github.com/openstack/sahara
  - EDP実行サンプル
    - https://github.com/openstack/sahara/tree/master/etc/edp-examples
- Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platfrom 5
  - OpenStack のデプロイメント: 実習環境 (手動設定) 第11章 OPENSTACK SAHARA のインストール
  - https://access.redhat.com/documentation/ja JP/Red\_Hat\_Enterprise\_Linux\_OpenStack\_Platform/5/html/Installation\_and\_Configuration\_Guide/chap-OpenStack\_Sahara\_Installation.html
- OpenStack Data Processing (Sahara) Juno Release Features Demo
  - http://youtu.be/zHYfLNJ7ncl
  - 上記で利用していたサンプル
    - https://github.com/openstack/sahara/tree/master/etc/edp-examples



## Sahara用イメージ

- Vanilla Plugin用
  - <a href="http://docs.openstack.org/developer/sahara/userdoc/vanilla\_plugin.html">http://docs.openstack.org/developer/sahara/userdoc/vanilla\_plugin.html</a>
  - Hadoop 1.2.1 および 2.4.1 が存在
- HDP Plugin用
  - http://docs.openstack.org/developer/sahara/userdoc/hdp\_plugin.html
  - Hortonworks社のHadoopディストリビューション
- Spark Plugin用
  - http://docs.openstack.org/developer/sahara/userdoc/spark\_plugin.html
  - CDH4 HDFS + Apache Sparck
- Cloudera Plugin用
  - http://docs.openstack.org/developer/sahara/userdoc/cdh\_plugin.html
  - CDH 5.2ベース
  - Disk Image Builderでイメージを作成する必要がある



